

顔認証ソフト「HL365」移行手順書

顔認証コネクトデバイス
LTC-T80/LT80/T80Q/LT80Q各シリーズ

更新：2023年9月27日

目次

- AlcheraからHL365への移行手順 [P3](#)
 - Alcheraアプリのアンインストール [P4](#)
 - HL365v3.14のインストール [P5](#)
 - HL365アプリの初期設定 [P6](#)
 - AlcheraからHL365へのデータ移行 [P7](#)
- **【重要】**HL365v3.12以降のアップデートについて [P9](#)
- **【重要】**マルチデバイス機能環境下のHL365アップデートについて [P10](#)
- よくある質問「Q&A」 [P11](#)

AlcheraからHL365への移行手順

AlcheraまたはHL365 v 2.04で運用しているお客様が対象となります。

【ご注意】

- Alcheraから移行できるデータは、①ユーザー番号、②名前、③組織情報（大分類名・中分類名・小分類名・詳細分類名）、④顔情報（登録顔写真及び顔認証用データ）、⑤パスコード（HL365 v3.12以降）です。
- HL365とAlcheraを同時に使用することはできません。Alcheraをアンインストールしない場合はライセンス違反となりますので注意が必要です。
- HL365 v2.04をご利用のお客様は、始めにHL365 v2.04をアンインストールしてから、HL365 v3.14をインストールして下さい。
V2.04からユーザー情報や設定情報は引き継ぐことができませんのでご注意ください。

概略手順

1. 事前準備

- ・アクセス履歴データのバックアップ
- ・インターネットへの接続（ライセンス認証用）
- ・HL365アプリをダウンロードしてUSBメモリへ保存

2. Alchera、またはHL365 v2.04のアンインストール

- ・Androidの設定画面からアプリをアンインストール

3. HL365 v3.14のインストール※

- ・USBメモリからHL365アプリをインストール
- ※HL365v3.12以降からHL365の最新バージョンに更新する場合、上書きインストールで問題ありません。
- ※HL365v3.14以降はオンラインアップデートに対応しています。

4. データ移行※

- ・HL365アプリの設定画面からデータ移行を実行
HL365 v3.12以降もAlcheraの情報から移行します。
- ※HL365v3.12以降からHL365の最新バージョンに更新する場合、データ移行は必要ありません。

1. 事前準備

(1) アクセス履歴データのバックアップ(*)

- ・アクセス履歴データは引き継ぎ対象外のため、必要な場合は事前にPCから管理者ページに接続してxlsxで保存してください。

(2) インターネットへの接続(*)

- ・HL365アプリのインストール時に行われる、顔認証機能のライセンス認証に必要です。

(*)の操作方法の詳細については、既存のユーザーズマニュアルをご参照ください。

2. Alcheraアプリのアンインストール

【ご注意】

- Alcheraアプリをアンインストールすると、元に戻すことはできません。
- マスタースレーブ機能で運用されているお客様はHL365 v3.12以降のバージョンで再設定する必要があります。
- Alcheraでパスワードを設定していない場合、データ移行後にユーザー編集を行うとパスワードを設定する必要があります。

(1) Alcheraアプリの終了

- Alcheraアプリが動作中の場合は、アプリを終了してください。

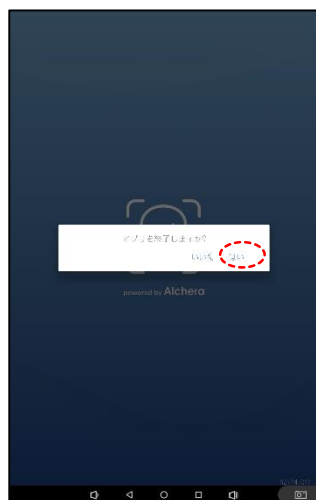
[画面下部スワイプ] → [ナビゲーションバー] → [<] → [アプリを終了しますか?] → [はい]

(2) Alcheraアプリのアンインストール

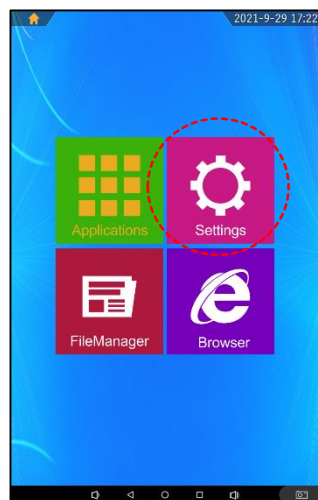
- Androidの設定から、Alcheraアプリ(Alchera-ACS)をアンインストールします。

ホーム画面から[Settings (設定)] → [アプリ] → [Alchera-ACS] → [アンインストール]

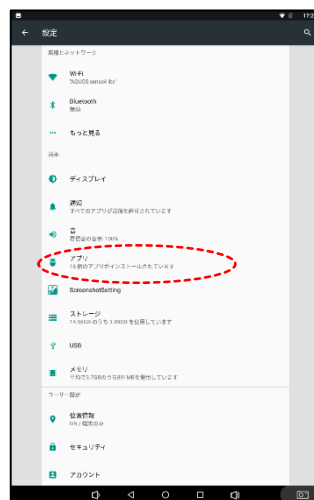
(ホーム画面が表示されていない場合は、[画面下部スワイプ] → [ナビゲーションバー] → [○] で表示できます。)



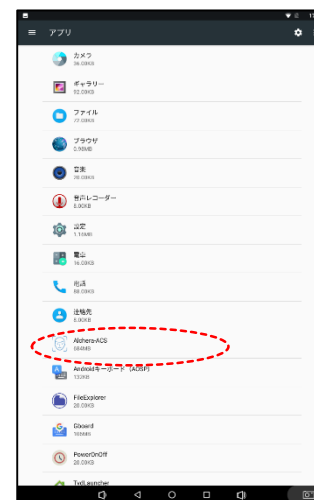
Alcheraアプリの終了



[Settings]をタップ



[アプリ]をタップ



[Alchera-ACS]
をタップ



[アンインストール]
をタップ

3. HL365 v3.14のインストール

(1) USBメモリーの挿入

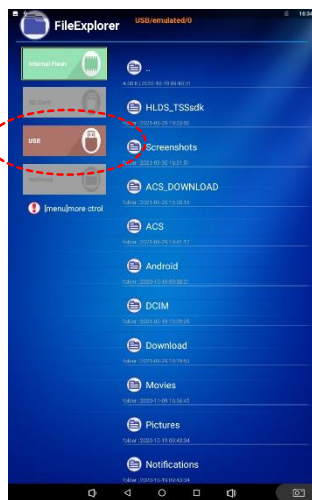
- ・装置本体裏面のUSBポートに、HL365アプリのAPKファイルを入れたUSBメモリーを挿入します。

(2) HL365アプリのインストール

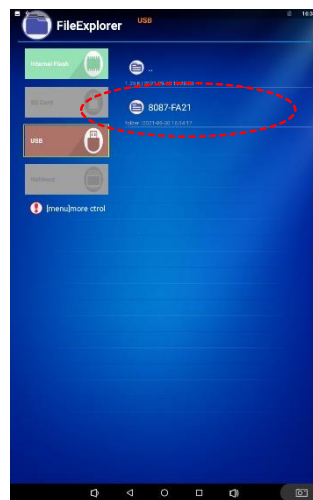
- ・FileManagerから、USBメモリー内のAPKファイルをタップしてHL365アプリをインストールします。
ホーム画面から[FileManager] → [USB] → [xxxx-xxxx] → [HL365.FaceのAPKファイル]をタップ
(ホーム画面が表示されていない場合は、[画面下部スワイプ] → [ナビゲーションバー] → [○] で表示できます。)
- ・インストールが完了するとHL365アプリが自動起動して、初期アカウント設定画面が表示されます。



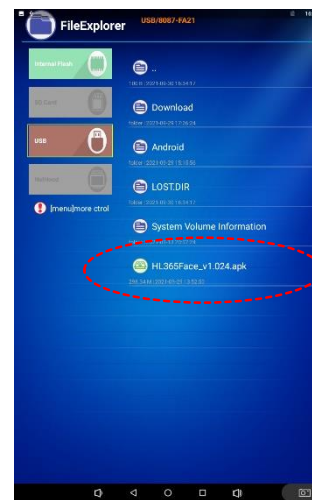
[FileManager]をタップ



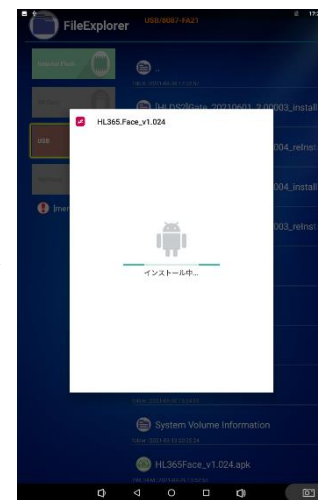
[USB]をタップ



[xxxx-xxxx]をタップ



[HL365.Faceの
apkファイル]をタップ



インストール実行中

本書と同時に提供する新・顔認証アプリHL365は、**顔認証技術のライセンスを含むインストールAPKとなります。**
将来提供されるアップデートを適用するためには、本インストールAPKを必ずインストールする必要があります。インストールAPKをインストールせず、アップデートを適用する事はできません。ご注意ください。

4. HL365アプリの初期設定

(1) 初期アカウント設定

- HL365アプリの管理者アカウントを設定します。ユーザー名、パスワードは4～12桁の英数字が入力可能です。
[ユーザ名][パスワード][パスワードの再入力]を入力 → [アカウント設定]
- アカウント設定後、インターネットを通じて顔認証機能のライセンス認証が行われます。
- ライセンス認証中は画面下部中央に[確認中]と表示され、1～2分ほどで表示が消えて通常動作可能となります。

(2) 設定画面へのログイン

- HL365アプリの設定画面へログインします。

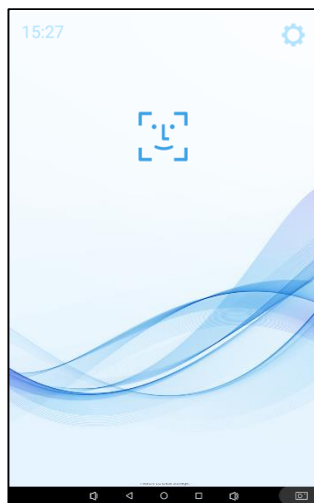
待機画面上部右側の [歯車アイコン] → 設定ログイン画面で上記で設定したユーザー名、パスワードを入力 → [確認]



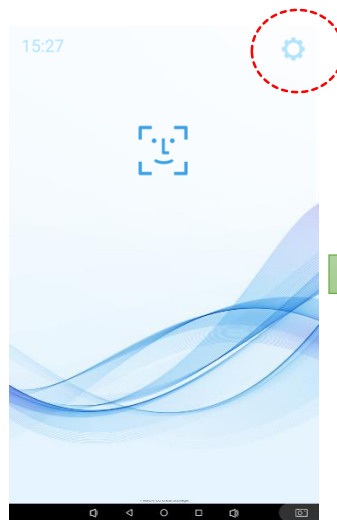
初期アカウント設定



ライセンス認証中



認証完了



待機画面



設定ログイン画面

5. AlcheraからHL365へのデータ移行

(3) データ移行

- ・端末設定からデータ移行を行います。

[設定] → [端末設定] → スクロール → [データ移行] → ポップアップ画面で[確認] → [確認] → [確認]

- ・画面上部左側[<] → [<]で待機画面へ戻ります。



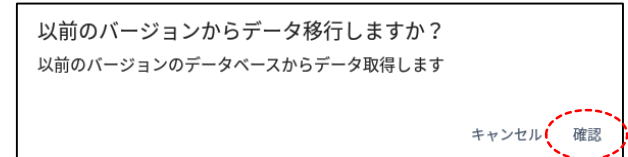
設定メニュー画面



端末設定画面



データ移行画面



* 移行対象のデータは以下の通りです。

登録済みの全ユーザー情報データ(defaultの管理者ユーザーを除く)

- ①ユーザー番号
- ②名前
- ③組織情報(大分類/中分類/小分類/詳細分類)
- ④顔情報(登録顔写真および顔認証用データ)
- ⑤パスコード (HL365 v3.12以降で可能です)

(4) アクセスする端末の設定

・ユーザー登録情報の移行後に顔認証するためには、移行したユーザー情報に対して「アクセスする端末」を設定する必要があります。

・新顔認証アプリHL365のWeb管理画面から操作を行います。

アクセスURL **http://端末のIPアドレス:8080/** ※端末のIPアドレス後に「コロン、ハチ、ゼロ、ハチ、ゼロ」を入力します。

※端末のIPアドレスは [設定] → [端末設定] → スクロール → [ネットワーク]から確認できます。

- ・Web管理画面の[端末管理]→ユーザーを割り当てたい端末を一覧から選び、[アクセス可能ユーザー]をクリックします。
- ・[アクセス不可能なユーザー]一覧から選択した端末で顔認証させたいユーザーを選択して[→]をクリックします。
- ・全てのユーザーを顔認証させたい場合は、[全てのユーザーを追加>>]をクリックします。
- ・最後に[保存]をクリックします。

端末管理

番号	端末名	端末タイプ	IPアドレス	運用状態	接続解除	IPアドレス変更	アクセス可能ユーザー
1	開発評価室	メイン	192.168.2.190	接続	接続解除	IPアドレス変更	アクセス可能ユーザー

追加する端末の端末名とIPアドレスを入力した後、登録ボタンを押してください

端末名 Gate 1 IPアドレス xxx.xxx.xxx.xxx 登録

端末管理

保存 戻る

アクセス不可能なユーザー

アクセス可能なユーザー

山田太郎
山田花子

全てのユーザーを追加 >>

→

<< 全てのユーザーを削除

【重要】HL365v3.12以降のアップデート方法

HL365 v3.12以降で運用しているお客様が対象となります。

HL365のバージョンアップに関する注意事項 !!

■ 顔認証アプリHL365のバックアップと復元について

バックアップと復元を行う場合、バックアップのHL365のバージョンと、復元先のHL365のバージョンを同じにする必要があります。異なるバージョン同士で復元を実行すると、製品の一部の設定情報が復元できません。

■ 顔認証アプリHL365のアップデート後は必ずバックアップを作成してください。

HL365のバックアップと復元先のバージョンを同じにするために、HL365のアップデート後に必ずバックアップの作成をお願いします。また、HL365には「定期バックアップ」機能があります。万が一のデータ消失に備えて定期バックアップ機能を利用することをお勧めいたします。

■ ソフトウェア更新履歴は下記よりご確認ください。

HL365

<https://dl.logitech.co.jp/download.php?pn=LST-D-946&ipn=LTC-T80FS>

■ オンラインアップデートを行う場合（v3.14以降より対応）

Wi-Fiまたは有線LAN利用して、端末の設定画面からアップデートを行う方法

<ユーザーズマニュアル>

https://dl.logitech.co.jp/downloadfile/DLfile/LST-M/ltct80_um_365.pdf

■ Apkファイルをダウンロードする場合（v3.12以降）

1. HL365利用申請フォームから申請します。（<https://dl.logitech.co.jp/download.php?pn=LST-D-942>）

2. 最新のHL365.Face をダウンロードして、下記いずれかの手順で更新します。

① 端末のWeb管理画面から更新する方法

② USBメモリを使用して更新する方法

<ユーザーズマニュアル>

https://dl.logitech.co.jp/downloadfile/DLfile/LST-M/ltct80_um_365.pdf

【重要】マルチデバイス機能環境下のHL365バージョンアップについて

HL365 v3.12またはv3.13で運用しているお客様が対象となります。

HL365v3.12またはv3.13からのアップデートに関する注意事項!!

本内容はマルチデバイス機能を利用して複数の端末を一元管理しているお客様が対象です。v3.14から顔認証エンジンが更新されているため、下記の正しい手順でアップデートする必要があります。

【アップデート手順】

1. バージョンアップ前のメイン端末のバックアップを取ります。
詳しい内容は、ユーザーズマニュアルの「バックアップおよび復元」を参照してください。
2. メイン端末とサブ端末の各端末の固定IPアドレスをメモなどに控えます。
IPアドレスの確認方法は、ユーザーズマニュアルの「端末のIPアドレスの確認」を参照してください。
3. 各サブ端末の設定情報（端末設定、端末運用モードなど）を控えます。
4. メイン端末のWeb管理画面 → 端末管理 → サブ端末の「接続解除」を行います。
詳しい内容は、ユーザーズマニュアルの「端末の追加登録とアクセス管理（マルチデバイス機能）」を参照してください。
5. PCの管理者ページまたはUSBメモリーを使用して、メイン端末およびサブ端末のアップデートを行います。
詳しい内容は、ユーザーズマニュアルの「PCの管理者ページを使用する場合」または「USBメモリーを使用する場合」を参照してください。
6. サブ端末の初期化をします。
7. マルチデバイス機能を使って、手順2で控えた固定IPアドレスを使ってメイン端末とサブ端末を連携させます。
詳しい内容は、ユーザーズマニュアルの「端末の追加登録とアクセス管理（マルチデバイス機能）」を参照してください。
8. 連携したサブ端末毎にユーザーのアクセス権を設定します。
詳しい内容は、ユーザーズマニュアルの「端末の追加登録とアクセス管理（マルチデバイス機能）」を参照してください。
9. バージョンアップ後のメイン端末のバックアップを取ります。

<ユーザーズマニュアル>

https://dl.logitech.co.jp/downloadfile/DLfile/LST-M/ltct80_um_365.pdf

よくある質問「Q&A」

Q : 勤怠管理システムとの連携は行いませんが、ソフトウェアを更新する必要はありますか。

A : はい。お客様からのご意見を基に機能追加や改善を行っています。
また、将来的にAlcheraはサポートを打ち切り独自ソフトHL365に開発を集中する予定です。

Q : 旧ソフトAlcheraから新ソフトHL365に移行したユーザー情報で顔認証ができません。

A : ユーザーが認証する端末情報は移行できません。
P8をご参照いただき、ユーザー登録情報に対する「アクセスする端末」を設定する必要があります。

Q : 旧ソフトAlcheraから新ソフトHL365に移行する方法は、オンライン自動更新ですか。

A : ソフトの移行になりますので、手動でインストール・アンインストールを行っていただく必要があります。
本書のP4～5をご参照ください。

Q : AlcheraとHL365の両方をインストールしておくことはできますか。

A : ライセンス関係でいずれかのソフトでご利用いただく必要があります。またソフトを共存させると不具合が起きる可能性があります。

Q : Alcheraから移行を行うとAlcheraで使用していたデータはどうなりますか。

A : アプリ移行後はAlcheraのアプリを削除しますので、記録等のデータは消えてしまいます。
但し、ユーザー登録情報についてはHL365の移行機能を使用してデータを引き継ぐことができます。

Q : API制御は誰でも簡単に利用することができますか。

A : お客様側（または外部取引業者）でシステム開発ができる事が前提のサービスとなります。
APIのご利用はお客様の自己責任の下ご利用いただけます。予めご了承下さい。

Q : 検証済み勤怠管理システム以外に新規システムとの連携をお願いすることは可能でしょうか。

A : システム開発できる業者様へご相談いただき、製品のAPI制御をご活用いただければと思います。